



SISTER PRINCESS KANO FAN BOOK

FLOWER BASE

ADULT ONLY

花穂の
秘密の花園



花穂

いるかい...

あ！

花穂はここへ...

ドドド

どうしたの？
花穂

ワッ

花穂の…

ワッ

あのね 花穂ね

いつもみたいに
お花にお水を
あげようとして
じょうろを
持ってたの

花穂の大事な
花壇がー！



そしたら
じょうろが
とっても
重くてね…



うわーん！

花穂のせいで
お花がこんな
なっちゃった

しゅん

どうしてなの…

ハッ

ハッ





泣かないで
花穂

俺が手伝って
あげるから
2人で手入れを
しよう

うん!

お兄ちゃま!

きっとお花も
元気になるよ

ホニ



ぶりー

きれいに
なったね

うん

お兄ちやまの
おかけだよ

良かった
良かった

えへへえ

……？

花穂？

花穂ね
さつきお花の上に
転んじやった時
とっても
悲しかったの

花穂が
ドジッ子だから
お花もこんな
可愛そうな事
になっちゃったっ
て

でも 今日
お兄ちやまに
沢山手伝って
貰えたのは
花穂が失敗
しちやったせい
なんだなって
思ったら
ちよっぴり嬉しく
なっちゃった

花穂
悪い子かなあ



そんな事
ないよ

花穂がいつも
一生懸命なのは
俺も良く
わかってるよ

なぜ

お兄ちやま…

お兄ちやま

花穂も
お兄ちやまの
お手伝いがしたい



何か
お手伝い
出来る事

花穂の
うれしい気持ち
お兄ちやまにも
分けて
あげたいの

きゅ

だから…



ない？

花穂…



ああ
もうちょっと
優しく
やってみて

お花を植える
時みたいに
手で包み込んで

こう...?
お兄ちやま



こうかなり?

いつもは俺一人で
やるんだけど

花穂にやって
もらうと
ずっといいんだ

そうそう
うまいぞ

...

気持ちいいの...



ごろん

花穂だって
そうさ

そのままお尻を
こっちに向けて
俺の顔を
またいでごらん

ニ...
ニ...



そう
そう

ひかん!

ニ...

気持ちいいだろう?
花穂

やん...!

あ...

お尻か...

はあ...

手がお留守に
なってるよ

花穂

はい…
お兄ちゃん

ははは
ははは

擦りながら
舌で舐めてみて
くれる?

これで
いいの?

そうそう
イイ子だ

ひゅん
ひゅん
ひゅん

舌で
包み込むように
丁寧にね

もう
ヌルヌルだ

ふあ…

ジュジュ
ジュジュ
ジュジュ

ひゅん
ひゅん
ひゅん



クチュクチュ
クチュクチュ

そっ…

クチュクチュユって
熱くて
ヘンになっちゃう

あ…
あん

やだよ

お兄ちやまあ

クチュクチュ

ヘンになって
いいんだよ

ほほ
ほほ

お兄ちやまあ…

ぐんぐん

ホラ

花穂も
頑張って

おん

んっ

花穂
がんばる…

ひちや
ひちや

ジュン

お兄ちやま

こんな格好
恥ずかしい...

大丈夫

トロトロに
なつて
溢れてきたな

そろそろ
良さそうだね

俺に任せて
ラクにして
るんだ

ジュン

とつても
気持ちいい
事さ

ジュン

ジュン

あーん



花穂

尻指ちんちん

全部
入ったよ

お兄ちやまの
熱くて大きい...

ああ

ピッタリ
くっついて
絡みついて
来るみたいだ

ふおおおお
ひあ——っ！

あうっ



花穂は結構
日だね

中がヒクヒク
言ってるよ

はあ...ん

お兄ちやま

こんなに動いちゃ
花穂...花穂...

そんなこと...

そんなこと
ないよう
お兄ちやまの
いじわる

花穂は
とっても
可愛いから...

時々
意地悪したく
なっちゃうんだ

はあ...

ヒクッ

あ...

おん...ん

ひゅっ

お兄ちやま...
いつもとつても
優しいけど
本当はそう
思ってたんだ



花穂は...
...してせ
花穂は...

あッ

花穂ッ

イッ
イッ
イッ



アッ...!!
アッ...!!

あッ...!!
あッ...!!

あッ...!!
あッ...!!



へーきたよ
お兄ちやま

ん…

ちよつと
やり過ぎたかな



七クッ 七クッ

花穂

大丈夫かい？



だから時々
いじわるしても
いいよ

転んでも泣いても
お兄ちやまが
いれば大丈夫

花穂はとっても
ドジッ子だけど

花穂…



大好きな
お兄ちやま♥

これからも
ドジッ子な
花穂を
助けてね



そのかわり

する